

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和2年度

前期

日本語論述

10:00~12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて3枚ある。
3. 解答用紙（25字×40行=1000字）は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題1～3のうちから1題を選択し、1600～2000字の日本語（横書き）で記述しなさい。なお、適当な箇所で行って段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

【問題1】

近年、多様な言語・文化的背景を持つ在留外国人および外国人滞在者が増加する中、英語もしくは多言語による情報伝達の限界が指摘されており、新たな情報伝達ツールとして、「やさしい日本語（Plain Japanese）」への注目が高まっている。「やさしい日本語」とは、非母語話者にもアクセスしやすい日本語であり、語彙や文法が簡潔である、一文の長さが短い、分かち書きが用いられるなどの特徴があり、災害発生時の情報伝達、行政・生活情報の提供、観光情報発信の場などで用いられている。「やさしい日本語」による情報の発信について、英語もしくは多言語による情報発信と比較した場合の利点と限界について述べなさい。

「やさしい日本語」の例：

じしん かぐ
地震で 家具が たおれないようにします

かぐ しょっき
家具（食器 だな たんすなど）が 地震のとき たおれないように、きぐ
器具を つけます。

（中略）

ひよう かね きぐ かね じぶん
費用（お金）：器具のお金は 自分で はらいます。とりつけは 0円です。家具は 2つ までで
す。（※）

※出典：公益財団法人 横浜市国際交流協会「横浜の生活情報 外国人のためのやさしい日本語版」No.214
（2019年4月号）（<https://www.yokeweb.com/yokoyoko>）（一部改変）

【問題2】

「テレワーク」（リモートワーク）という働き方がある。日本テレワーク協会によると、テレワークとは、ICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことを意味し、働く場所によって、自宅利用型テレワーク（在宅勤務）、モバイルワーク、施設利用型テレワーク（サテライトオフィス勤務など）の3つに分けられるという。このテレワークという働き方について、あなたが想定するメリットとデメリットを論じなさい。

【問題3】

電子書籍の普及にともなって、従来の紙の書物の役割についても見直しが行われている。近年ではインターネットショッピングを利用して、書店に足を運ぶことなしに本を購入する人も増えている。書物を取りまく環境が大きく変わろうとしているとき、紙の書物を扱う書店という空間は、今後わたしたちの生活のなかでどのような空間となっていくことが望ましいだろうか。あなたの考えを述べなさい。